

令和7年度 脱炭素先行地域みなとみらい21地区 6施設で省エネ設備を導入、5施設がデマンドレスポンスに新規参画しました

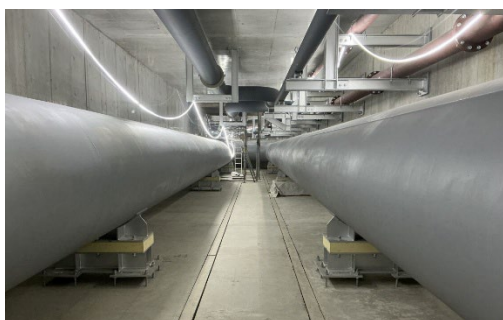
脱炭素先行地域の「みなとみらい21地区」では、脱炭素化の実現を目指してさまざまな取組を実施しています。令和7年度は、国の地域脱炭素推進交付金を活用し、6施設で11件の省エネ設備の導入を実施しました。

また、地域一体となったデマンドレスポンス^{*1}(節電)の取組について、新たに5施設が参画します。今後詳細検討を進め、2028年度容量市場^{*2}の参加を目指します。

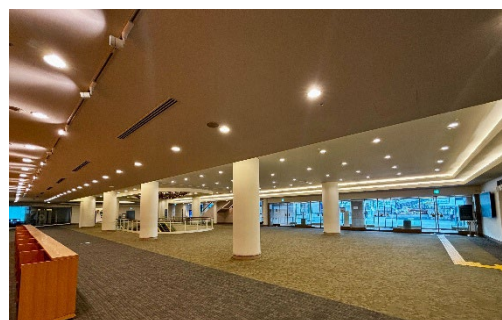
1 地域脱炭素推進交付金を活用した設備導入

照明器具のLED化を、国の交付金を活用して実施し、施設の省エネ化が進みました。LED化による年間CO₂排出削減量は推計で約640tです。また、地区内で地域熱供給事業を展開するみなとみらい21熱供給株式会社が新たに建設する熱供給プラント(9年度竣工予定)において交付金を活用し、高効率の熱製造機器を導入します。7年度は、プラントと地区内施設を繋ぐための洞道内熱導管の整備を実施しました。

引き続き脱炭素先行地域の目標達成に向けた取組を、参画施設の皆様とともに実施していきます。



みなとみらい21熱供給第3プラント



パシフィコ横浜

【令和7年度 整備案件一覧】(街区順)

	実施施設	補助金申請者	補助対象設備
1	パシフィコ横浜	(株)横浜国際平和会議場	高効率照明設備(LED照明)
2	クイーンズスクエア横浜	三井住友信託銀行(株)	高効率照明設備(LED照明) ※3件
3	県民共済プラザビル	神奈川県民共済生活協同組合	高効率照明設備(LED照明)
4	みなとみらいグランドセントラルタワー	三井住友信託銀行(株)	高効率照明設備(LED照明) ※4件
5	みなとみらい21熱供給第3プラント	みなとみらい21熱供給(株)	高効率空調設備 ※令和9年度までの複数年事業
6	日産自動車株式会社 グローバル本社	日産自動車(株)	高効率照明設備(LED照明)

裏面あり



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



2 デマンドレスポンス

横浜市庁舎とみなとみらい 21 地区のビル群による地域一体型のデマンドレスポンスの取組について、新たに 5 施設が参画します。今後、節電テストを行い実施に向けた詳細検討を進めます。

デマンドレスポンスに取り組むことで、電力の安定供給に貢献できるほか、太陽光発電といった天候に左右される不安定な発電を補うことができるため、再生可能エネルギーの普及拡大の一助にもなります。地域内の複数施設が一体となって容量市場に参加しデマンドレスポンスを実施する取組は全国的にも稀であり、先進的なモデル事例となります。

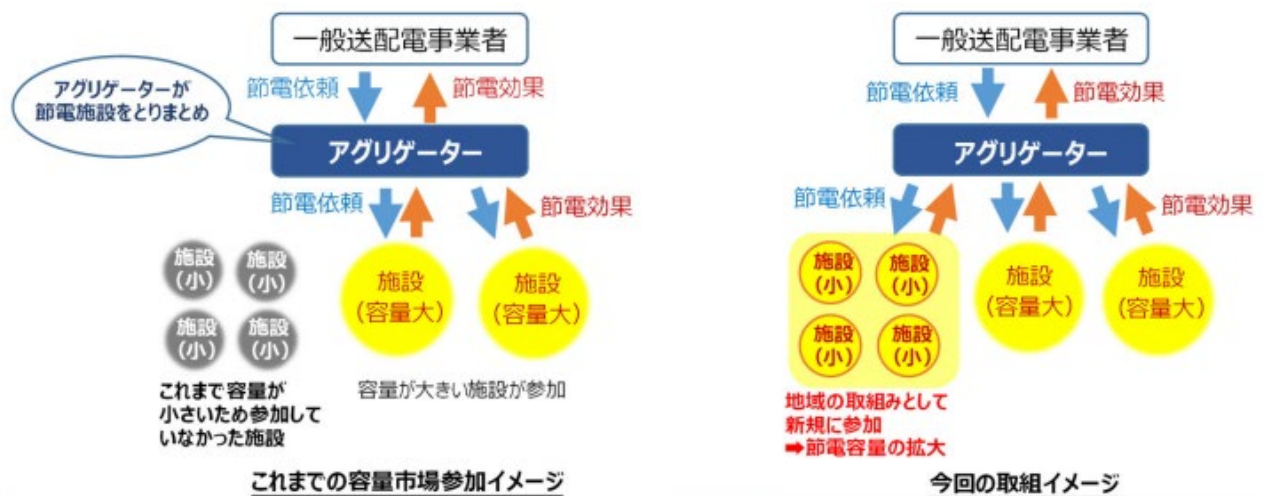
【参画施設一覧】

2027 年度 容量市場から 参画（街区順）	横浜赤レンガ倉庫	クイーンズスクエア横浜	横浜ランドマークタワー	横浜銀行本店ビル
	日石横浜ビル	MM パークビル	みなとみらい グランドセントラルタワー	横浜シンフォステージ (アグリゲーター：エナリス)
	横浜グランゲート	資生堂グローバル イノベーションセンター	日産自動車株式会社 グローバル本社	横浜市庁舎
2028 年度 容量市場から 参画（街区順）	MARK IS みなとみらい	横浜メディアタワー	神奈川大学 みなとみらいキャンパス	ほか 2 施設

【事業スキーム】

節電容量の大きい大規模な工場等とは異なり、本取組では都市部の節電容量が小さい商業施設やオフィスビルを複数取りまとめてデマンドレスポンスを実施します。

地域一体の取組として容量市場への参加を促進したことで、これまで参加していなかった施設の参加が実現し、各施設の節電容量を積み重ねることで、大きな節電容量を創出することが期待できます。また、各施設の節電が不可能な時間帯を地域一体で補い合い、安定して節電容量を創出することが期待できます。



※2030 年度までのアグリゲーターは公募により、アズビル株式会社が実施。

次頁あり

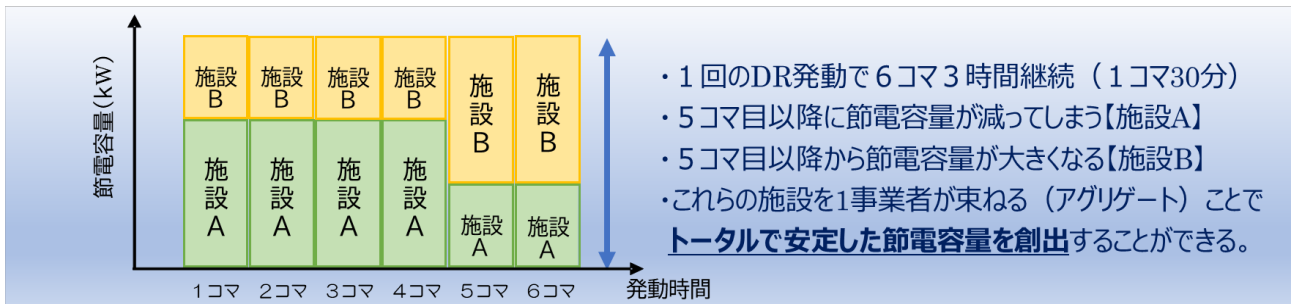


GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



※参考 複数施設でのデマンドレスポンスのイメージ



※1 デマンドレスポンスとは

電力の需要（使用量）と供給（発電量）を一致させるための手法です。
 電力の需要と供給のバランスが崩れると大規模な停電に繋がる恐れがあります。
電力の需要が供給を上回ると見込まれる際に、電力会社からの要請を受け、施設（需要側）で節電等を行い、需要と供給のバランスを整えます。



（参考：資源エネルギー庁 デマンドレスポンス（DR）について https://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/electricity_measures/dr/dr.html）

※2 容量市場とは

将来必要な電源を確保することで、電力供給を安定化させることを目指し開設された市場です。
 容量市場において、**デマンドレスポンスは「発動指令電源」と呼ばれ、発電所と同様に電源のひとつ**として扱われています。
 発動指令電源の年間発動回数は最大12回、1回あたり3時間継続して実施します。
節電等の容量が小さい施設は「アグリゲーター」を介して容量市場に参加することができます。

（参考）脱炭素先行地域とは

2050年カーボンニュートラルに向けて、「地域脱炭素ロードマップ」に基づき環境省が公募する地域で、2030年度までに「民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO₂排出の実質ゼロ」などの要件を地域特性に応じて実現する地域です。

45の参画施設・事業者や脱炭素先行地域における取組はこちらをご覧ください
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/senkouchiiki.html>



（参考）令和7年3月13日記者発表「横浜市庁舎とみなとみらい地区のビル群が地域一体でのデマンドレスポンスに取り組みます（みなとみらい地区仮想発電所構想！）」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/green/2024/0313mmdr.html>



お問合せ先			
（脱炭素先行地域の全般に関すること）	横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局 循環型社会推進課長	松下	Tel 045-671-2636
（MM21地区のまちづくりに関すること）	（一社）横浜みなとみらい21 企画調整担当部長	樋口	Tel 045-682-4404



GREEN×EXPO 2027
 YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

